Multifunction Analyzer チュートリアル (FG編)



Version 1.00



目次

- •01.はじめに
- 02. 機材
- •03. 起動
- •04. 接続
- 05. 設定ダイアログ起動
- •06. 波形選択
- •07. 周波数設定
- 08. 電圧設定
- •09. 出力開始
- •10. 波形観測開始
- •11. Duty比設定
- •12. 出力停止





01.はじめに

本書は、マルチファンクションアナライザ(以下MFA)ファンクションジェネレータ機能(以下FG)の操作方法について一連の流れを説明します。

名称など、分からない箇所がありましたら、MFAについてはハードウェアユーザーズマニュアル、 MFAアプリケーションについてはヘルプを参照ください。





02.機材

- 以下の機材を準備してください。
 - ・MFA ×1台
 - ・USBケーブル ×1本 (別売り mini B タイプ)
 - ・ACアダプタ(ACケーブル含む)×1個
 - ・FGケーブル×1本

(別売りCS2892(TLBNWA-1.5D2V-PPRG-1ミスミ社製)を使用して説明します)

・DSOプローブ×1本

(別売りCS2891 (HP-9250 ミスミ社製)を使用して説明します)

・PC(MFAアプリケーションインストール済)×1台

※アプリケーションのインストールについてはインストールマニュアルを参照下さい。



03.起動

ホストPCとMFA機材を接続し、MFAとMFAアプリケーションを起動した状態まで準備してください。



※ MFA機材の接続、MFAの起動については、ハードウェアユーザーズマニュアルを参照ください。 ※ MFAアプリケーションの起動については、ヘルプを参照ください。





1. FGコネクタにFGケーブルを接続してください。







- 2. DSOプローブの設定を×10にしてください。
- 3. DSO CH1コネクタにDSOプローブを接続してください。







- 4. DSOプローブ GND側をFGケーブル GND側(黒)へ接続してください。
- 5. DSOプローブ プロービング側をFGケーブル 信号側(赤)へ接続してください。







05.設定ダイアログ起動

MFAアプリケーション上からFG設定のダイアログを起動してください。



	ファンクションジェネレータ 設定 ダイアロ ファンクションジェネレータ
	Output 周波数 1000.0 文
>	(波形) (単位)
	● へ 最大電圧 5.10v ♀
	○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	Duty#2 50%

グ起動



06.波形選択

波形を選択します。

方形波を選択してください。

方形波を選択







07.周波数設定

周波数を設定します。 2kHzに設定してください。

周波数 2kHzに設定







08.電圧設定

最大電圧、最小電圧を設定します。

最大電圧: 2.0V 最小電圧: -2.0V と設定してください。







09.出力開始

FGの出力を開始します。

Outputボタンを押してください。







10.波形観測開始

FG から出力した波形を DSO CH1 で観測します。

1. MFAアプリケーション上から波形観測開始ボタンを押してください。

(MFA上のRUNボタンを押すことでも可能です。)

- 2. DSO CH1のトリガ位置を0Vに設定してください。
- 3. DSO CH1に 方形波 2kHz ±2V(緑色)が観測できます。



※波形が歪んで見える場合は、チュートリアル DSO編を参照し、DSOプローブの調整を行ってください。



11.Duty比設定

方形波のDuty比を設定します。

25%と75%に設定してください。



25%

75%



12.出力停止

最後に、FGの出力を停止します。

Outputボタンを押してください。





